

令和7年10月30日

東浦町議会議長 殿

こどもふくし委員会  
委員長 大川 晃  
副委員長 赤川操恵  
委員 間瀬元明  
委員 間瀬宗則  
委員 杉下久仁子

## こどもふくし委員会視察先検討結果書

### 1. 視察先選定に至る経緯

(1) 5月14日(水) 全員に対して視察先・調査事項を検討することを LINEWORKS こどもふくし委員会グループへ指示。

各委員から以下11件の視察案件が提案される。

- 保護者対応の専用窓口「ホットステーション」(奈良県天理市)
- こども若者支援事業(兵庫県神戸市)
- ヤングケアラーSOS事業(群馬県高崎市)
- 子どもの居場所づくり事業(福井県越前市)
- 保有人材バンク運営事業(滋賀県野洲市)
- 貧困世帯の子育て支援「つくばこども青い羽根学習会」(茨城県つくば市)
- 子どもの人権オンブズパーソン事業(兵庫県川西市)
- 発達性ディスレクシア早期発見早期対応システム(茨城県つくば市)
- 公立保育園の民営化(大阪府茨木市)
- 公立保育園の民営化(千葉県松戸市)
- 公立保育園の民営化(東京都国立市)

(2) 8月19日(火) 意見集約、候補地検討、視察予定日の検討(LINEWORKS こどもふくし委員会グループ) 全員参加

提案された11件の中に茨城県つくば市が2件候補として挙がっており、茨城県つくば市を第一候補とした。視察予定を二日間とし周辺市町の案件を候補地とすることとした。

- 貧困世帯の子育て支援「つくばこども青い羽根学習会」(茨城県つくば市)
- 発達性ディスレクシア早期発見早期対応システム(茨城県つくば市)
- 公立保育園の民営化(千葉県松戸市)
- ヤングケアラーSOS事業(群馬県高崎市)

茨城県つくば市では、視察不可日を設けているため、委員全員が参加できる日程を検討することにした。

その結果、視察予定を二日間とし視察予定日を

- 11月6日(木) から11月7日(金) までとし

茨城県つくば市の視察日を11月7日(金)と予定した。

(3) 8月20日(水) 意見集約、調査事項の選定を検討(LINEWORKS こどもふくし委員会グループ) 全員へ報告

調査事項を《貧困世帯の子育て支援「つくばこども青い羽根学習会」》《発達性ディスレクシア早期発見早期対応システム》と《公立保育園の民営化》の3件とすることにした。

- (4) 8月22日(金)意見集約、視察予定日の再検討(LINEWORKS こどもふくし委員会グループ) 全員へ報告

11月6日(木)から11月7日(金)の行程は、議会事務局からの総務委員会視察と重なり、議長と副議長が町内に不在となる事は望ましくないという指摘があり日程を変更することとした。先方の受け入れ可能期間と全員のスケジュールを検討しなおし、令和8年1月15日(木)から1月16日(金)を視察予定日とした。

- (5) 8月30日(土)調査事項に対する質問事項を集約(LINEWORKS こどもふくし委員会グループ) 全員へ報告

《貧困世帯の子育て支援「つくばこども青い羽根学習会」》《発達性ディスレクシア早期発見早期対応システム》と《公立保育園の民営化》の3件の質問事項を集約。

- (6) 10月10日(金)千葉県松戸市より民間保育園化した時の担当がいけないとの理由で受入れできないとの回答があり、他の自治体でも民営化後の時間が経過しているため、調査事項を見直すことにした。調査事項を「こども誰でも通園制度」に変更することにした。質問事項を集約(LINEWORKS こどもふくし委員会グループ) 全員へ報告

- (7) 10月29日(水)千葉県松戸市よりこども誰でも通園制度でも担当部署が多忙で受入れできないとの回答があり、調査事項を変えずに調査先を見直すことにした。調査事項を「こども誰でも通園制度」と「公立保育園の民営化」を実施している栃木県宇都宮市とし、質問事項を集約(LINEWORKS こどもふくし委員会グループ) 全員へ報告

## 2. 調査事項及び視察候補地

検討の結果、下記の2ヶ所を候補地とすることにした。

候補地① 茨城県つくば市

《貧困世帯の子育て支援「つくばこども青い羽根学習会」》

《発達性ディスレクシア早期発見早期対応システム》

候補地② 栃木県宇都宮市

《こども誰でも通園制度》

《公立保育園の民営化》

## 3. 視察候補日

令和8年1月15日(木)から1月16日(金)まで

4. 調査事項の選定理由 ※どのような観点から本町にフィードバックできると判断し決定したのか。

① 《貧困世帯の子育て支援「つくばこども青い羽根学習会」》の選定理由。  
貧困世帯支援の先進的な取り組みで、行政・地域・市民の協働モデルとして注目されているため、本町に対しても展開可能性が高い取り組みと判断し選定した。

《発達性ディスレクシア早期発見早期対応システム》の選定理由。  
発達性ディスレクシアに対する全国的課題への先進的対応、科学的根拠に基づいた支援体制の構築、教育現場の負担軽減と質向上の両立により、本町に対しても波及する可能性があるかと判断し選定した。

② 《こども誰でも通園制度》の選定理由。

「こども誰でも通園制度」が創設され、本町でも令和8年4月より導入されるため選定した。

《公立保育園の民営化》の選定理由。

本町でも公立保育園2園を民営化する計画が発表されたため選定した。

## 5. 補欠候補地（黒まる数字は優先順位）

① 貧困世帯の子育て支援と発達性ディスレクシア対応事業を取り入れている自治体は他には見当たらない。

② こども誰でも通園制度の実践と公立保育園の民営化を行なっている自治体は他には見当たらない

## 6. 視察先の選定理由

《貧困世帯の子育て支援「つくばこども青い羽根学習会」》  
《発達性ディスレクシア早期発見早期対応システム》について

### ◎茨城県つくば市

二つの事業を同時に進めている自治体は他にはない。いずれも先進的な取り組みで他に代わるところがないと判断した。また、オンライン視察の受け入れもされていますが、現地の空気感（住宅環境や道路環境）を直接感じるにより、本町へフィードバックしやすいと考えたため。

《こども誰でも通園制度》

### ◎栃木県宇都宮市

宇都宮市は市内2施設において、「こども誰でも通園制度」のプレ事業となる「乳児等通園支援事業」を実施しており、市内2施設の民営化を計画しているため、本町にも参考になると考えたため。

## 7. 質問内容

### (1) 茨城県つくば市

《貧困世帯の子育て支援「つくばこども青い羽根学習会」》

- 「青い羽根学習会」設立の背景と、事業開始の経緯を伺います。
- つくば市がこの取り組みを必要と判断した社会的要因を伺います
- どのような層（ひとり親世帯、生活保護世帯、就学援助対象世帯など）を主な対象とし、この事業がなければ支援に届かなかっただろう家庭は、どの程度存在

- しますか。
- 運営主体と市の関わり方（委託・補助・直営など）や教育委員会・学校との情報共有や連携はどのように行われているのかを伺います。
  - 学習支援員の確保が重要と思われませんがボランティアや大学生の関与はありますか。その育成・確保はどのようにしているのかを伺います。
  - つくばこども青い羽根学習会の各地区14教室（HPより）の利用者数、学習支援員数などの現状を教えてください。また、学習会はどのくらいの頻度・時間で実施していますか。
  - 学習支援以外に、食事提供・居場所機能・相談支援などは行っていますか。
  - ICTやデジタル教材を活用した支援は行っていますか。
  - 学力向上、進学率、出席状況、生活習慣改善など、どのような成果が確認されていますか。
  - 利用者や保護者からの反響・満足度はどのように把握していますか。
  - 事業の財源はどのように賄われていますか？（市予算・国補助・企業協賛・寄付など）
  - 支援の質を高めるために今後強化したい点は何ですか？
  - 他自治体が参考にする際のポイントを教えてください。
  - 「支援を受けた子どもがどのように変わったか」を示す具体的なエピソードを教えてください。
  - 保護者のエンゲージメントを高めるためにどんな取り組みをしていますか？
  - 各地区教室は市と地域団体が事業協定を締結した事業と思いますが、協定内容を教えてください。
  - 本事業にかかる予算、つくばこどもの青い羽根基金との関係、行政としての評価を教えてください。

#### 《発達性ディスレクシア早期発見早期対応システム》

- 発達性ディスレクシア早期発見システム導入のきっかけや背景は何ですか。
- システム導入の事業費（国や県の補助金の有無）と運用コスト（検査費用など）はどれくらいですか。
- 国の施策や文部科学省のガイドラインとの整合性はどのように図られましたか？
- このシステムを構築する際、他自治体や研究機関との連携はありましたか。
- 宇野彰筑波大学元教授の調査では、生まれつき読み書きが困難な子どもは、児童全体の7～8%を占めるとのことですが、検査で発見される児童、生徒の割合を教えてください。
- 全小・中学校でスクリーニングを実施していますか。
- ICTを活用した仕組みについて、具体的にどのようなツールやプラットフォームを用いていますか。
- 早期発見早期対応をするための教員研修や保護者説明はどのように実施されていますか。
- 保護者からの理解・同意を得るために工夫している点はありますか。また保護者からの評価を教えてください。
- 専門家（言語聴覚士、心理士、医療機関など）との連携はどのように確立していますか。早期に発見するための検査手法と、検査結果はどのように記録・共有さ

- れていますか。(学校、家庭、専門機関との連携方法)
- 導入後、どのような改善効果(学習成果・進学・自己肯定感等)が見られましたか、また課題や改善が必要と感じている点は何ですか。
  - 早期対応が行われた児童が読み書きができるようになった割合とフォローアップはどのように実施していますか。
  - 今後、このシステムを市全体で継続していくための財源確保の見通しを教えてください。
  - 他自治体がこの仕組みを導入する際、最も課題になると想定されることありますか。
  - この仕組みを通常学級全体の授業改善や教育 DX に発展させる構想はありますか。
  - 発達性ディスレクシアが不登校の要因にもなると推測しますが、小学生、中学生の不登校の割合を教えてください。

## (2) 栃木県宇都宮市

### 《こども誰でも通園制度》

- 宇都宮市としての独自の工夫や重点ポイント(対象年齢、利用時間、利用上限、料金設定など)はありますか。
- 利用料の設定や財源(国の補助・市単独分)について教えてください。
- 制度開始以降の登録児童数・利用件数の推移を教えてください。
- 実際に利用している家庭の属性(在宅育児家庭、育休中、共働き家庭など)はどのような傾向がありますか。
- 保護者からの反響や満足度調査などは実施されていますか。
- 職員配置(専任担当者や支援員など)は通常保育とどう区分されていますか。
- 制度開始当初に直面した課題(職員向け、利用者向けなど)と、その解決方法を教えてください。
- 制度運用の中で生じた課題や想定外の問題にはどのようなものがありましたか。
- 制度拡大や改善に向けて、今後の課題・展望をどのように考えていますか。
- 他自治体が導入する際に留意すべき点・助言があればお聞かせください。
- 今後、通園範囲の目安として設定している5つの「教育・保育提供区域」での実施に対する見通しを教えてください。

### 《公立保育園の民営化》

- 宇都宮市で公立保育園の民営化を進めるに至った背景・目的を教えてください。  
(例：財政負担の軽減、人材確保、保育の質向上など)
- 段階的移行や地域バランスをどのように考慮されていますか。
- 民営化対象園(東浦保育園・松原保育園)はどのような基準・理由で選定されましたか。(園舎の老朽化、定員、職員構成、地域需要など)
- 運営事業者の選定方法(公募型プロポーザル・指定管理・委託など)はどのようにされていますか。
- 選定にあたって、特に重視した評価項目(保育理念、職員継承、地域連携、財務基盤など)は何ですか。
- 引継ぎ期間中、既存園の保護者や職員に対する説明・合意形成はどのように行いましたか。

- 公立時代に在籍していた保育士の雇用継続や処遇について、どのように配慮されていますか。
- 保育士の給与・労働条件は、公立と民間でどのような差がありますか。
- 民営化後の人材確保（保育士・調理員など）はスムーズに行えていますか。
- 保護者への説明や意見聴取はどのようなプロセスで行いましたか。
- 民営化後に保護者負担（保育料・副食費・行事費など）に変化はありましたか。

#### 8. 視察までの予定（勉強会の実施等）

- 議長に本書により報告し、議会事務局に視察先との調整を要請。
- 議会事務局より調整完了した視察先の報告を受け、議長に所管事務調査通知書を提出し、視察先に依頼文書を送付する。
- 11月25日に視察前の事前勉強会を計画。
- 委員による最終調整を令和8年1月に予定。